

経営比較分析表（令和元年度決算）

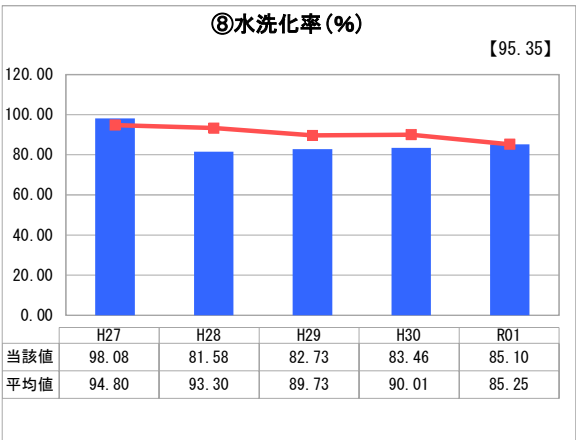
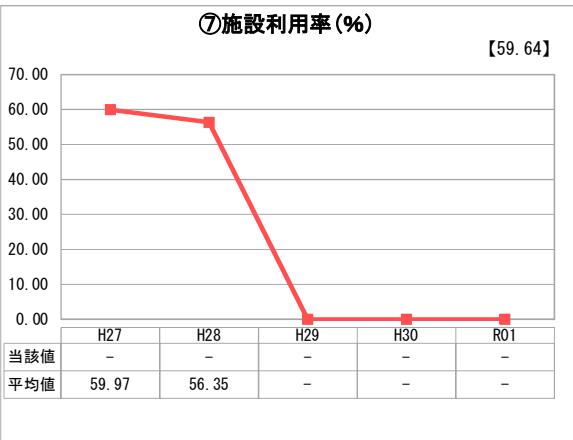
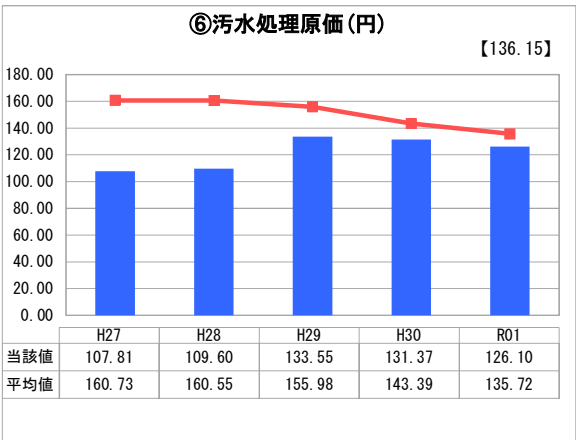
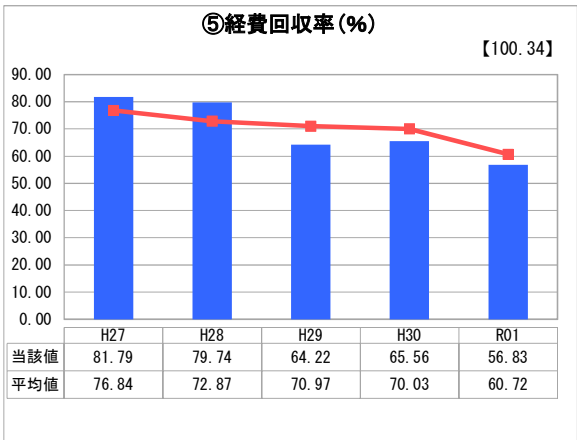
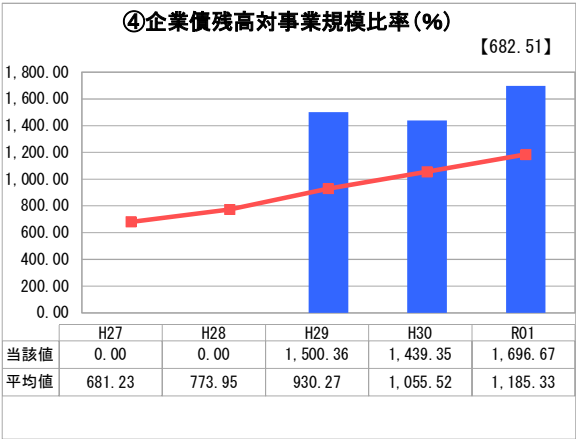
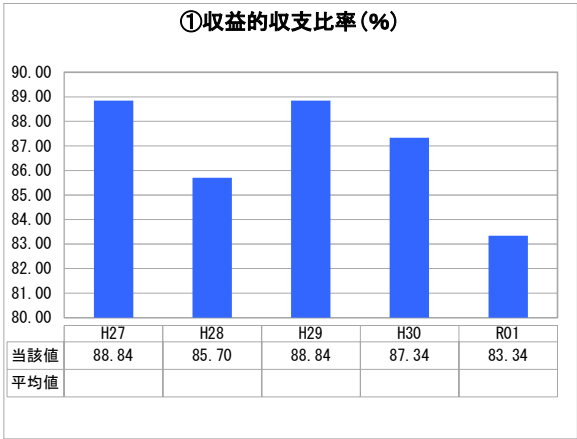
沖縄県 南風原町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Ca	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	70.02	100.00	1,342

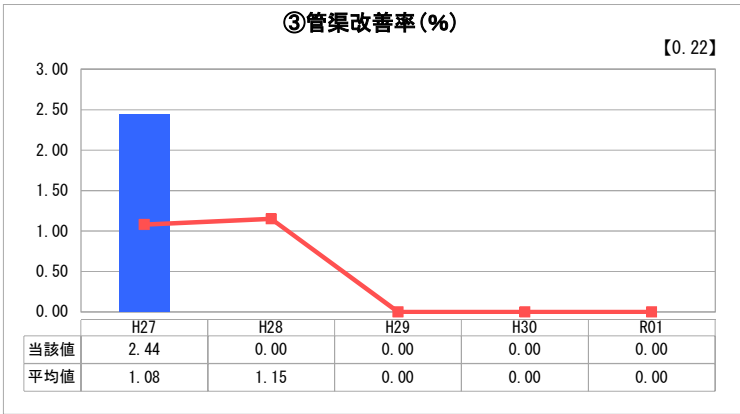
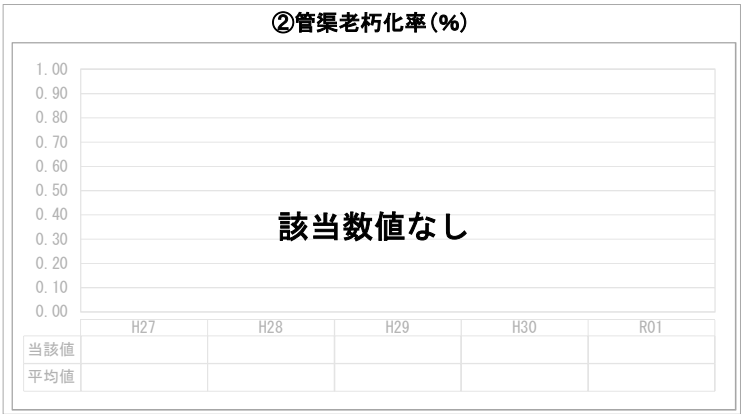
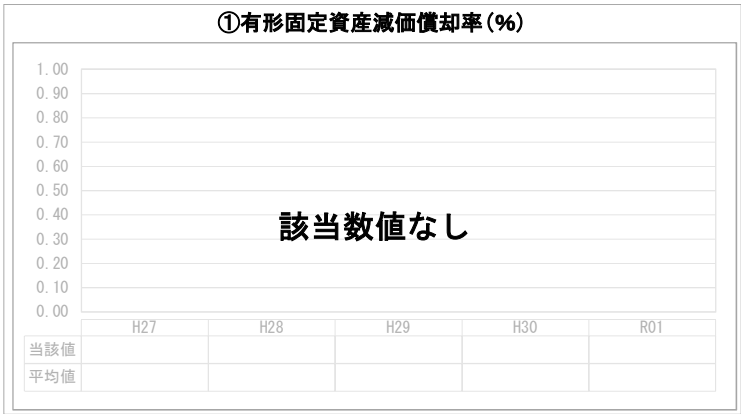
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
39,909	10.76	3,709.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
27,944	3.52	7,938.64

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率：使用料収入は接続率の増加に伴い年々伸びてきているが、今年度は、公営企業会計移行による3月打ち切り決算を行ったため、収支比率がだいぶ落ち込んでいるように見える。また、当該値は依然として100%未満となっており赤字を示している。健全な経営を行うため下水道使用料と支出の見直しを検討する必要がある。

④企業債残高対事業規模比率：当該値は、前年度には僅かに減少していたが、今年度は、増加に転じており、類似団体との比較においても平均値を大幅に上まわっている。使用料収入に対する企業債残高の割合が大きくなっていることを示しており、今後経営の改善を図っていく必要がある。

⑤経費回収率：前年度は、僅かに増加したが今年度は、減少しており、平均値と比較してもマイナス3.89ポイントと平均値に達していない状況である。使用料で経費を回収できていない状況が示されており、使用料の改定を検討していく必要がある。

⑥污水处理原価：前年度との比較において5.27ポイント減少しており、類似団体の平均値との比較でもマイナス9.62ポイントと比較的低い値を示しており効率的な污水处理が実施されていると考えられる。

⑧水洗化率：供用開始地区が増えた段階で一時的に下がっているが平成28年度から年々順調に増加している。類似団体の平均値にはあと僅かとなっているが、全国平均レベルを達成するためにも接続補助の活用等も含め接続率向上の努力が必要である。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率：本年度の本町の数値は示されていないが、現在までのところ老朽化による問題は生じていない。引き続き、適正な維持管理を進めていく必要がある。

全体総括

本町の下水道事業は、使用料で経費を回収できていない状況であり他会計からの繰入れや、起債に依存している実態は明らかである。

また、公共下水道は、供用開始の昭和60年から30年余り経過していることから、管渠の更新の予測を検討する時期が到来している。

今後、持続可能な下水道事業のためにも、経営の健全化を図るためにも接続率の向上及び下水道使用料の改定等も検討していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。